

特別講演

日時 令和元年8月21日(水) 13:30~14:30 場所 北九州国際会議場 メインホール

タイトル ディープラーニングの現状と高専の可能性
講演者 東京大学大学院工学系研究科 教授 松尾豊



1997年 東京大学工学部電子情報工学科卒業。2002年 同大学院博士課程修了。博士(工学)。同年より、産業技術総合研究所研究員。2005年 8月よりスタンフォード大学客員研究員を経て、2007年より、東京大学大学院工学系研究科総合研究機構/知の構造化センター/技術経営戦略学専攻准教授。2014年より、東京大学大学院工学系研究科 技術経営戦略学専攻 グローバル消費インテリジェンス寄付講座 共同代表・特任准教授。2019年より、東京大学大学院工学系研究科 人工物工学研究センター/技術経営戦略学専攻 教授。専門分野は、人工知能、ウェブマイニング、ビッグデータ分析。人工知能学会からは論文賞(2002年)、創立20周年記念事業賞(2006年)、現場イノベーション賞(2011年)、功労賞(2013年)の各賞を受賞。人工知能学会では学生編集委員、編集委員を経て、2010年から副編集委員長、2012年から編集委員長・理事。2014年から2018年まで倫理委員長。2017年より日本ディープラーニング協会理事長。

講演概要

ディープラーニング(深層学習)の技術が急速に進展している。画像認識をはじめとして、自然言語処理、機械制御などの領域にも大きく応用領域が広がっている。ディープラーニングの活用を考えると、さまざまな産業分野に可能性があり、特に機械系の技術との融合がネックになる場合が多い。本講演では、高専が大きなポテンシャルをもっていること、そして、新たな事業を生み出し、産業を作っていくにはどうすればよいかについて述べる。特に国内でのディープラーニングに関するスタートアップの現状と、それがどのように大きな事業につながっていくか等について説明する。

タイトル 「卒業して10年、今だからこそ思う高専の可能性」
講演者 フラー株式会社 代表取締役 CCO 櫻井 裕基



1989年生。新潟県出身。国立長岡工業高等専門学校卒業後、千葉大学工学部デザイン学科へ編入学。2012年にフルーに参画し、2014年1月には取締役、2016年6月共同代表として代表取締役 COO(最高執行責任者 Chief Operating Officer)に就任。2017年10月より、CCO(最高文化責任者 Chief Culture Officer)に兼務就任。創業時から主力サービスでもある App Ape のデザインやコーポレートデザインにも関わるなど、国内外の IT 事業全体の更なる躍進を目指し、精力的に取り組んでいる。ユメは世界一働きやすい会社を創ること。

講演概要

私は長岡高専を卒業後、大学に編入。そこでデザインを学び、22歳の時に大学院の入学届けと同時に休学届けを提出、2011年11月に今の会社を創業しました。高専を卒業してから10年経ち、今は正社員70人ほどのITベンチャー企業の経営者となりました。弊社は高専への想いが非常に強く、全国にある高専を周り、高専の可能性を伝える高専キャラバンを開始。共同代表の母校である長岡高専と連携協定を結ぶなどIT業界の現場レベルのエンジニア教育やアントレプレナーシップの醸成も行っています。今回私は、この特異な10年を辿り、今だからこそ感じる「高専教育の良さや課題」「起業家目線での高専の可能性」などの様々な視点からお話しようと思います。